

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年05月30日	
明治大学の所属学部・研究科	国際日本学部 (学部/ 学科/ 研究科/ 専攻等)	
留学(渡航)した時の学年	2年生	
帰国年月日	2023年05月27日	
明治大学卒業予定年月	2025年03月	
<b>留学先大学について</b>		
留学先国	アメリカ合衆国	
留学先大学	ニューヨーク州立大学バッファロー校 (日本語名) University at Buffalo the state of New York(現地言語名)	
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語	
留学期間	2022年08月～2023年05月	
留学先大学で在籍した学年	2年生	
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): (現地言語での名称):  <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:	
学年暦 記入例: 1 学期/4 月上旬～7 月下旬、 2 学期/9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 08 月下旬～12 月下旬 3 学期: ~	2 学期: 1 月下旬～5 月下旬 4 学期: ~
学生数	3万人	
創立年	1846年	

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (どる)	日本円	備考
授業料	0	0円	明治の授業料だけ
宿舍費	10000	135万円	
食費	5000	70万円	
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費		円	
現地交通費		円	( <input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費	3000	35万円	形態: 明治、UB どちらもの保険に加入しなければなりません(内容ほぼ同じ)
渡航旅費	2500	35万円	
ビザ申請費	290	4万円	
雑費	75	1万円	
その他	2000	60万円	大学から寮費の他に諸経費でこの位請求されました。
その他		円	
合計	22865	340万円	

渡航関連	
<b>渡航経路</b>	
往路 出発地:羽田空港	目的地:バッファロー国際空港 経由地:
復路 出発地:バッファロー国際空港	目的地:羽田空港 経由地:
<b>渡航費用</b>	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社:デルタ航空会社 料金:35万	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:	
<b>航空券購入方法</b>	
<input checked="" type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: )	
<input type="checkbox"/> インターネット(サイト名: )	
<input type="checkbox"/> その他( )	

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:エリコット)      アパート      ホームステイ

2)部屋の形態

個室      相部屋(同居人数2)

3)共有部分

バス      トイレ      キッチン(自炊可      自炊不可)

4)住居を探した方法:

学校のホームページ

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

エリコットの相部屋をおすすめします。違う国の人と暮らすという経験はとても貴重です。私はルームメイトと仲が良く長期休みに二回おうちに泊まりに行きました。エリコットは UB の寮のなかで一番大きく、友達に会いやすいです。私の仲の良かった友達は私の部屋の近くに住んでいたことがきっかけで仲良くなり、よく一緒にムービーナイトや料理、勉強をラウンジでしていました。こういった友達をつくる点で寮、相部屋をおすすめします。

## 現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

なし  
あり(治療を受けた場所:虫歯4本、近くの歯医者(学校内にも歯医者がありますが口コミがひどいです))

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし  
あり(問題の内容や相談した人等:キャンパス内で一度殺人がありました。 )

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

キャンパス内に UB 専用の警察がいて彼らが危険情報などをメールしてくれます。キャンパス内は比較的安全です。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

キャンパス内に wi-fi がしっかり飛んでおり問題ないです。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

基本アメリカはクレジットカード支払いです。ドルをつかって持っていきましたが、かなり残りました。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

薬くらいだともいいます。ですがアメリカは物価が高く、円安なので同じものでも向こうで買うと日本より高くなります。日本で揃えて持っていくことをおすすめします。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
27 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった:レベルが 400 以上の授業をとることはできません	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
spoken English	スピーキング
科目設置学部・研究科	ELI
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	1単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 80 分が2回
担当教授	Jon Meeder
授業内容	英語でのスピーチの仕方について学ぶ
試験・課題など	学期に 4 回ほど発表がありそれに対するフィードバックをクラスメイト達で言い合う。
感想を自由記入	留学生しか取れない授業なので、第二言語が英語である生徒に出会えます。中国人の方が多く中国語が飛び交っていました。授業に関しては先生はよいのですが、あまりとる意味がなかったというのが感想です。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
introduction to Academic writing	ライティング
科目設置学部・研究科	ELI
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	1単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 80 分が2 回
担当教授	Namsook Kim
授業内容	英語でのエッセイのかき方について学ぶ。 これも上記同様留学生しか取れない授業です。
試験・課題など	教科書(80 ドル)を使いながら、先生がアメリカでのエッセイの書き方を教えてくれる。大きいエッセイの学期を通し4つかく。
感想を自由記入	一番とる意味がなかった授業でした。習ったこと全て日本で習ったようなものでした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
introduction international politics		国際政治入門
科目設置学部・研究科	PSC	
履修期間	秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回	
担当教授	Collin Anderson	
授業内容	政治の基礎をアメリカの政治を中心に学びます。	
試験・課題など	毎週自分が注目したニュースを一枚のレポートにして提出。学期中に計 3 つのテスト。	
感想を自由記入	先生の教え方がわかりやすく、人気なようでした。 内容も面白く、政治の基礎的なことを学ぶので政治系の授業を取りたい方はおすすめです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
introduction to sociology		社会学
科目設置学部・研究科	SOC	
履修期間	秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に50分が3回	
担当教授	Sarah Ford	
授業内容	私達が生きている社会について、人種、ジェンダー、階級、LGBTQ などを中心に広く浅く学びます。	
試験・課題など	オンラインの試験が毎週。中間、期末テストが一つずつ。	
感想を自由記入	多様性の良い面について学ぶと思いきや、アメリカでの多様性の現実について学びます。 "多様性"と言うのは簡単ですが、それを実現するのはいかに難しいことなのかを様々なひとがいるアメリカにしながらこの授業を通し気づくことができました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
introduction to comparative politics		比較政治入門	
科目設置学部・研究科	PSC		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回		
担当教授	collin anderson		
授業内容	世界各国の政治体制を比較する。		
試験・課題など	毎週自分が注目したニュースを一枚のレポートにして提出。学期中に計 3 つのテスト。		
感想を自由記入	世界各国の政治体制を比較することでさらに日本の政治についての理解を深めることができました。さらに他国の政治の仕組みについても学べたのでおもしろかったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
international relations problem		国際関係論	
科目設置学部・研究科	PSC		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面 (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50 分が3回		
担当教授	Vesna Danilovics		
授業内容	テロ、宗教、人権問題のトピックを中心に世界で起きている問題について学ぶ。		
試験・課題など	学期中に三つのテスト。学期末にプレゼンテーション。		
感想を自由記入	一番大変な授業でした。まずリーディングの量が多く、読み終わらないとテストが解けないので常に追われていました。プレゼンテーションも一人で十分間何十人ものアメリカ人の前で行います。緊張しましたが、終わった時は達成感がありました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
international political economy		国際政治経済
科目設置学部・研究科	PSC	
履修期間	春学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に 50 分が3回	
担当教授	Jieun Lee	
授業内容	国際経済を政治と関連させながら学ぶ。主に貿易、投資、為替などについて学ぶ。	
試験・課題など	毎週の小テスト。学期末にレポート。グループプレゼンテーション。	
感想を自由記入	面白く、わかりやすい授業でした。現在の私たちの生活はグローバルな、他国との交流の中で成り立っていることを再認識し、その中でどこどう交流していくかを考えることが重要であることを学びました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Asian civilizations II		アジア史
科目設置学部・研究科	HIS/AS	
履修期間	春学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に 50 分が3回	
担当教授	Mark A Nathan	
授業内容	東アジア、インド、東南アジアの歴史を中心に学ぶ	
試験・課題など	学期中に二つのテスト	
感想を自由記入	先生が優しい方で、生徒の数も少なく、アットホームな雰囲気クラスでした。日本の歴史を他国と比較しながら学ことで理解を深め、また違った視点を得ることができました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
introduction to environmental and sustainability studies	環境問題とサステナビリティ
科目設置学部・研究科	EVS
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が2回
担当教授	Piata Marques
授業内容	地球上の環境問題を理系、文系の視点から学び、その問題に対する行動を話し合います。
試験・課題など	学期中にレポートを四つ(グループでと個人で行うものが二つずつ)、学期末テストが一つ
感想を自由記入	私は理系ではないのでついていくのが大変でしたが、レポートやテストはそのような知識がなくてもできるものだったのでどうにかやり遂げることができました。他の学生と環境問題について話し合う時は最初は何も発言できませんでしたが、回を重ね徐々に話せるようになりました。

### 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。



## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	出願
留学開始年	1月～3月	合格通知
	4月～7月	航空券購入、予防接種、滞在先確保
	8月～9月	渡航
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

私の留学はひと言でいうと楽しいだけのものではありませんでした。

私は留学当初、自分の低い英語力と狭い留学生内の人間関係に、どんよりとした気候の下で日々悩み、途中帰国を考えました。ですが自分が留学にきた目的をはっきりさせ、主に友達作りに励んだ結果、最終的には沢山の素敵なアメリカ人の友達に恵まれました。朝一緒にジムに行き、夜はみんなで夕食後図書館で勉強し、金曜の夜は映画を見たり、週末は買い物に行って料理をしたりと充実した留学生活を送ることができました。また長期休みのたびに彼らの家に泊まらせてもらい様々な文化に触れることができました(韓国系、中国系、ギリシャ系、ナイジェリア系、ブラジル系)。途中で諦めず行動し続ける選択をとった当時の自分を誇りに思います。知らない地で違う言語を使いながら一人で生きるというのは大変ですが、困難を自力で乗り越えれば、その経験は必ず自分自身を強くします。私はこの留学で英語力より人間力がついたかもしれません。留学生活、特にバッファローは気候が良くないので精神的に辛くなりやすいです。自分を信じて頑張ってください。

この大学は様々な人種の学生がいて多様性に満ち溢れています。ですが彼らの親が移民というケースが多く基本彼らはアメリカ人です(交換留学生は少ないです)。親が移民のせいかな私の片言な英語にも慣れていて沢山の方が助けてくれました。

日本人の割合は極めて少ないです。ですが日本人だけでつるもうと思えば全然できてしまいます。せっかく異国に行くのなら他国の友達を作り、そこでしかできないことに励むことをおすすめします。

そしてなぜ自分が留学にきたのかも明確にしておく、自分がそこで何をすべきなのかを時間を無駄にすることなく考え、行動に移すことができるのでぜひ行く前に再度言語化してみてください。

10ヶ月長いようであつという間です。頑張ってください、応援しています。